

◆平成三年秋季特別展◆

# 卑弥呼の 世界

一九九二年十月五日(土) — 一九九二年十二月二日(日)

卑弥呼は、正史に記された唯一の女王である。その存在は、正史の記述と考古学的な発見とが一致している。その統治は、東洋の歴史に大きな影響を与えた。その世界は、東洋の歴史に大きな影響を与えた。その世界は、東洋の歴史に大きな影響を与えた。

卑弥呼の存在は、正史の記述と考古学的な発見とが一致している。その統治は、東洋の歴史に大きな影響を与えた。その世界は、東洋の歴史に大きな影響を与えた。その世界は、東洋の歴史に大きな影響を与えた。

卑弥呼の存在は、正史の記述と考古学的な発見とが一致している。その統治は、東洋の歴史に大きな影響を与えた。その世界は、東洋の歴史に大きな影響を与えた。その世界は、東洋の歴史に大きな影響を与えた。



- 主催 大阪府立弥生文化博物館  
読売新聞大阪本社  
読売ラレビ
- 協賛 OSAKA KOG/N
- 後援 (財)大阪文化財センター  
(財)大阪府埋蔵文化財協会

■開館時間 午前10時～午後5時  
(入館は午後四時三十分まで)

◆入館料  
◆休館日 毎週水曜日

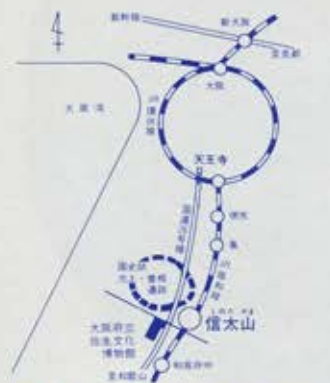
	個人	団体
一般	600円	480円
高・大	400円	320円
小・中	200円	160円

\*団体は20名以上

# ◆平成三年秋季特別展◆ 卑弥呼の世界

一九九九年十月五日(土)―一九九九年十二月二日(日)

大阪府立弥生文化博物館は、平成三年秋季特別展として「卑弥呼の世界」を企画いたしました。三世紀のおわりに活躍していた中国の歴史家陳寿が、さまざまな情報に基づいて、そのころの倭人の世界を記述したのが「魏志」の倭人伝であります。そこには、三世紀の倭人の世界などが描きだされていますが、倭国の中心地だった邪馬台国がどこにあったのか、その女王卑弥呼はいかなる人物であったのかなど、謎に満ちた部分が少なくありません。このたびの企画では、卑弥呼の世界が考古資料からどれだけ描きだせるかという視点から展示を構成いたしました。それと同時に、女王卑弥呼を題材にした、絵画・陶芸・書物・歌劇・漫画・ポスターなどのさまざまな作品も一堂に集めました。「考古学から見た卑弥呼」と「現代人から見た卑弥呼」の両方をじっくりとご覧いただき、遠く邪馬台国や女王卑弥呼へと、想いを馳せていただきたく存じます。



■交通/JR阪和線信太山駅より徒歩7分

## ■考古学セミナー

- 第1回 10月5日(土)  
「邪馬台国前夜」  
都出 比呂志(大阪大学文学部教授)
- 第2回 10月19日(土)  
「卑弥呼像を復原する」  
会岡 慧(弥生文化博物館長)

- 第3回 11月2日(土)  
「魏志倭人伝を読む」  
山尾 幸久(立命館大学文学部教授)
- 第4回 11月16日(土)  
「銅鏡百枚」  
田中 琢(奈良国立文化財研究所学識文化センター長)

\*各回とも午後2時～4時 1Fホールにて  
当日午後1時より受付 先着170名

■映画会 10月26日(土) 午後2時  
「卑弥呼」

\*どちらの催し物も無料(入館料は必要)

